科目名	多文化PBL				
曜日・講時	金曜4限		川北キャンパス A 1 0 6		
科目群	全学教育科目先進科目-国際教育		1		
単位数	2.0単位				
対象学部	全				
担当教員(所属)	三島 敦子 所属:				
開講期	1/3/5/7セメスター				
科目ナンバリング	ZAC-GLB807J				
	日本語				
メディア授業科目					
主要授業科目	各学部の履修内規または学生便覧を参照。				
授業題目	【国際共修】留学生の出身国・地域を日本から見る(日本語) Seeing Home Country and Area from Japan: Intermediate Co-learning Seminar(Japanese)				
授業の目的と概要	外国人留学生対象日本語プログラムの授業との合同開講。授業は日本語で行う。留学生の出身国・地域の大学に日本人が留学する場合や、日本人がそこで働く場合の諸事情について、国内学生と留学生が協力して調査し、発表したり、グループ討論したりする。そして、国内学生も留学生も、自文化と異文化の相違点の分析を通して多様な考え方に触れ、自文化を再認識したり、自分と異なる考え方を許容したりする姿勢を養う。国内学生には、留学生にわかりやすい日本語で話すことが求められる。 This subject is being held jointly with the Japanese Language Program for International Students. The language of instruction will be Japanese. International and Japanese students will cooperatively investigate what conditions are like for Japanese people who study and work in the international students' home countries/regions, then give presentations and hold group discussions on their findings. By analyzing the differences between their own and other cultures, both the Japanese and international students will come into contact with diverse ways of thinking, learn more about their own cultures, and foster tolerance for different ideas. Japanese students are required to speak in Japanese that is easy for international students to understand.				
学習の到達目標	【国内学生】 ・留学生の出身国、出身地域の社会事情、生活文化、価値観に関する理解を深める。 ・留学生と協力し、調査、発表を行い、それを通して、外国人とやりとりする際の、日本語でのコミュニケーション能力を高める。 【Japanese student】 - Deepen your understanding of the social environment, lifestyle, and values of the other students' home countries/regions Improve your Japanese communication skills when interacting with foreigners by cooperatively researching and presenting with the International students.  【留学生】 ・ 出身国、出身地域の社会事情、生活文化、価値観について日本語で説明できる。 ・ ほかの留学生の出身国、出身地域の社会事情、生活文化、価値観について理解を深める。 ・ 国内学生と協力し、調査、発表を行い、それを通して、日本語でのコミュニケーション能力を高める。 【International student】 - Learn to explain the social environment, lifestyle, and values of your home country/region in Japanese Deepen your understanding of the social environment, lifestyle, and values of the other students' home countries/regions Improve your Japanese communication skills by cooperatively researching and presenting with the Japanese students				
授業内容・方法と進度予定	※対面授業で実施します。 This class will be held in person.  第1回 オリエンテーション、グループ・イン: 第2回 スピーチ:町の紹介 準備 第3回 スピーチ:町の紹介 第4回 ポスター発表:○○大学に留学しよう 第5回 ポスター発表:○○大学に留学しよう 第6回 ポスター発表:○○大学に留学しよう 第7回 ポスター発表:○○大学に留学しよう 第7回 ポスター発表:○○大学に留学しよう 第8回 グループ討論 第9回 グループ討論 第11回 グループ討論 第11回 グループ討論 第11回 ボスター発表:相手の国から見た私の 第13回 ポスター発表:相手の国から見た私の 第15回 ポスター発表:相手の国から見た私の 第15回 ポスター発表:相手の国から見た私の 第15回 ポスター発表:相手の国から見た私の	準備 準備 発表 1 発表 2			

1st Orientation, group interview 2nd Speech: Introducing your town 1 3rd Speech: Introducing your town 2 4th Poster presentations on studying abroad 1 5th Poster presentations on studying abroad 2 6th Poster presentations on studying abroad 3 7th Poster presentations on studying abroad 4 8th Preparing for group discussion 9th Group discussion 1 10th Group discussion 2 11th Group discussion 3 12th Poster presentations on your country 1  $\,$ 13th Poster presentations on your country 2 14th Poster presentations on your country 3 15th Poster presentations on your country 4 出席、授業参加度:20% 課題達成度(グループ活動、発表、レポートなど):80% ※課題ごとにレポートを課す。提出期限を守ること。 成績評価方法 Attendance and class participation: 20% Assignments (group activities, presentations, reports, etc.): 80% \*Students will write reports for each assignment. Please submit them by the deadline.

## 教科書および参考書

	著者名 	出版社	出版年	ISBN/ISSN	資料種別	
関連URL ——————						
授業時間外学習 If the preparation f within the class tin presentation and c		ポート作成のため、毎回ではないが、最大2〜3時間程度の時間が必要な場合がある。 or the presentation in the group and the review of the presentation for writing the report do not end ne, do it outside the class time. It may take up to 2 to 3 hours, but not every time, to prepare for the reate the report.				
ミ務・実践的授業 う は、実務・実践的授業でる。	<b>*</b> O					
	ある					
ことを示す。 とを示す。 受業へのパソコン持ち込 <i>る</i>	み 必要(コメント等	の投稿のため) ments etc. online)				
ことを示す。 受業へのパソコン持ち込る 【必要/不要】	み 必要(コメント等 Yes(to post com		員連絡先一覧」を参照。			
ことを示す。 受業へのパソコン持ち込る 【必要/不要】	み 必要(コメント等 Yes(to post com 等) 全学教育HP掲載の 資料の配布、レポ	ments etc. online)	gleクラスルームを使用しま			
ことを示す。 受業へのパソコン持ち込む 【必要/不要】 車絡先(メールアドレス等	み 必要(コメント等 Yes(to post com 等) 全学教育HP掲載の 資料の配布、レポ Google Classroor 留学生:東北大学 International stud	ments etc. online) の「全学教育科目授業担当教員 ートの提出等のために、Goog	gleクラスルームを使用しま laterials, submit reports, e 本語能力試験N3合格レベ e if you are at level 4 of th	etc. ・ル、中級前半修了程度)以 e Tohoku University Japan	ese Language Course	
ことを示す。 受業へのパソコン持ち込 <i>る</i>	み 必要(コメント等 Yes(to post com 全学教育HP掲載の 資料の配布、レポ Google Classroor 留学生:東北大学 International stud (Japanese Langu 人数調整について ムでお知らせしま	ments etc. online)  の「全学教育科目授業担当教員 ートの提出等のために、Googn will be used to distribute m 日本語コースのレベル4(日 ents: Registration is possible age Proficiency Test N3 pass :留学生、国内学生の割合を す。開講前にGoogleクラスル	gleクラスルームを使用しま naterials, submit reports, e 本語能力試験N3合格レベ e if you are at level 4 of th level, completion of the f 考え、受講者の人数調整を アームを確認してください。	etc. にル、中級前半修了程度)以 e Tohoku University Japan irst half of the intermediat する場合があります。詳細	ese Language Course e level) は、Googleクラスル-	
ことを示す。 受業へのパソコン持ち込む 【必要/不要】 車絡先(メールアドレス等	み 必要(コメント等 Yes(to post com 全学教育HP掲載の 資料の配布、レポ Google Classroor 留学生:東北大学 International stud (Japanese Langu 人数調整について ムでお知らせしま Considering the r	ments etc. online)  の「全学教育科目授業担当教員  ートの提出等のために、Googn will be used to distribute m  日本語コースのレベル4(日  lents: Registration is possible age Proficiency Test N3 pass  :留学生、国内学生の割合を	gleクラスルームを使用しま atterials, submit reports, e 本語能力試験N3合格レベ e if you are at level 4 of th level, completion of the f 考え、受講者の人数調整を アームを確認してください。 s and domestic students, v	etc. にル、中級前半修了程度)以 e Tohoku University Japan irst half of the intermediat する場合があります。詳細 we may adjust the number	ese Language Course e level) は、Googleクラスル-	

1単位の授業科目は、45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としています。1単位の修得に必要となる学修時間の目安は、「講義・演習」については $15\sim30$ 時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など) $30\sim15$ 時間、「実験、実習及び実技」については $30\sim45$ 時間の授業および授業時間外学修(予習・復習など) $15\sim0$ 時間です。